

むらたまち 議会だより



コロナに負けず元気に登校(西足立地区児童)

● 令和3年度当初予算	… 2
● 予算審査特別委員会	… 5
● 3月定例会議案審議	… 8
● ズバリ!町政を問う【一般質問 5人】	… 10
● 常任委員会レポート	… 16 他

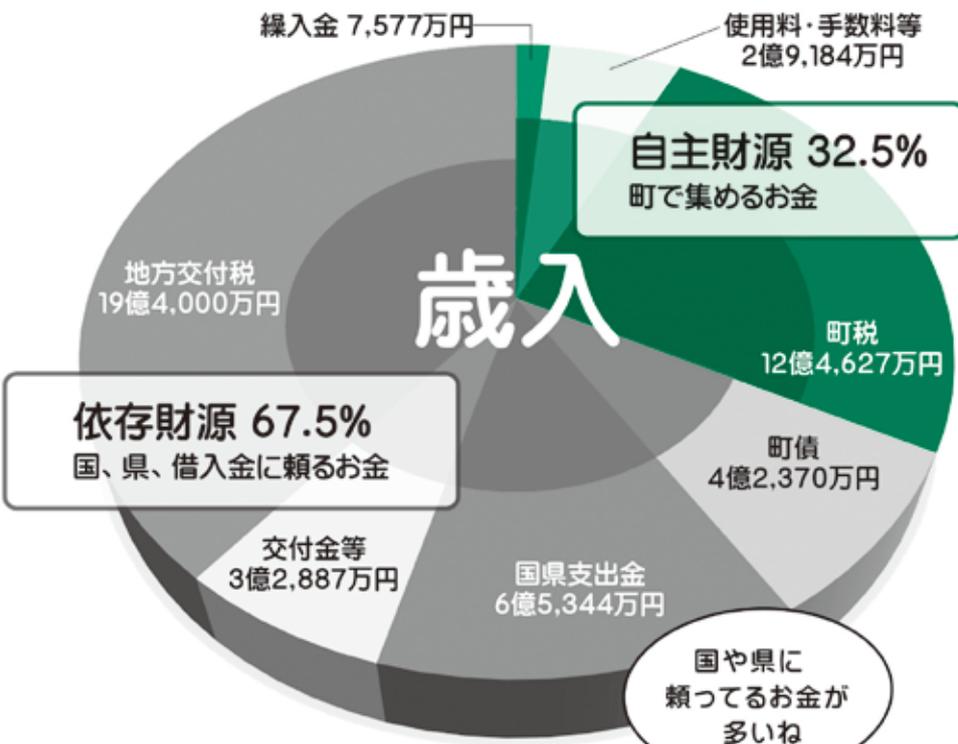
Vol. 124
2021.5.1.

費削減 援の充実で定住促進へ

令和3年度各種会計予算案の予算審議を行い、一般会計及び、その他の特別会計と企業会計は採決の結果全会一致で可決されました。一般会計予算は、歳入歳出の総額がそれぞれ49億5,988万円となりました。

全会一致で

可決



ポイント

自主財源の比率が高いほど自主的な財政運営ができることとなります。村田町は自主財源が3割程度と低い数値になっています。

ふるさと納税
による歳入確保
6,000万円



これなら
自主財源が
増やせるね

財政健全化計画

令和7年度までに財政調整基金
3.5億円以上積み立て。
現在1.4億円。
(令和3年3月当時の見込み額)



令和3年度 予算

歳入確保と経 子育て支

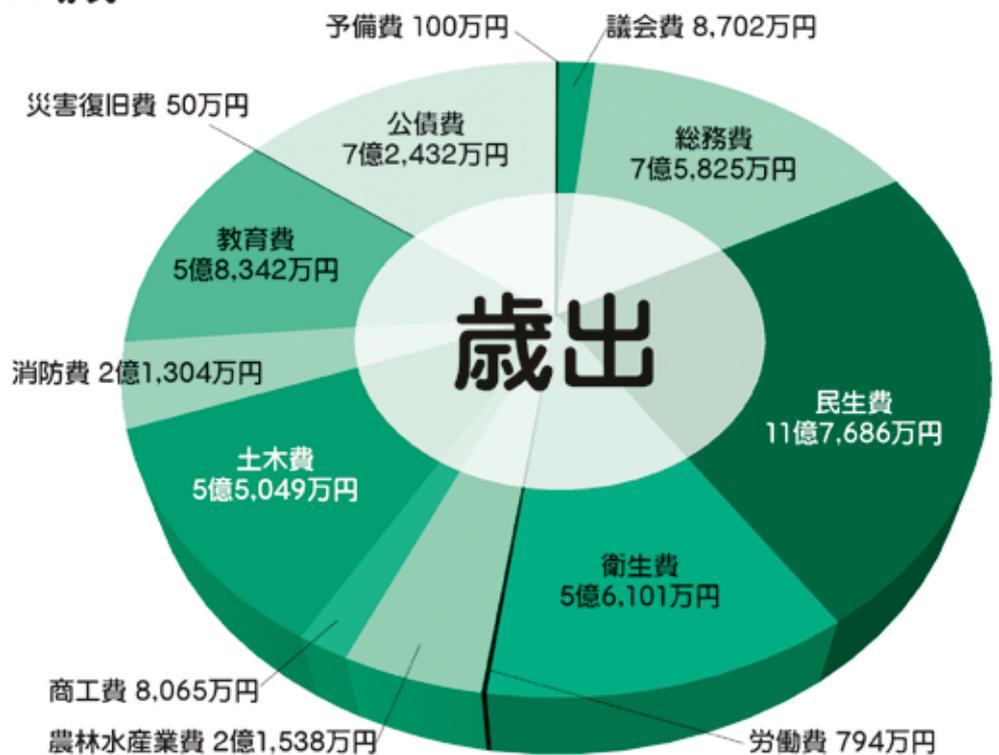
総額 89億6,522万円 (特別会計・企業会計含む)

一般会計 49億5,988万円

前年度比 0.2%減

人件費の抑制 で経費削減

町長給料…… 30%
教育長給料… 15%
管理職手当… 10%
職員給料…… 3%
議員報酬…… 5%
の削減



令和3年度会計別当初予算

会計名		令和3年度	対前年度増減額
一般会計		49億5,988万円	▲881万円減
特別会計	国民健康保険事業	14億3,086万円	1億880万円増
	後期高齢者医療	1億2,336万円	273万円増
	介護保険事業	11億9,266万円	5,451万円増
	宅地造成事業	1,666万円	▲634万円減
企業会計	上水道事業	6億659万円	3,543万円増
	下水道事業	6億2,747万円	1,290万円増
	工業用水道事業	774万円	▲11万円減
合計		89億6,522万円	1億9,911万円増

預かり保育で 定住促進

村田幼稚園と、子育て支援センターで実施。





令和3年度一般会計予算

総括質疑

新年度は、財政健全化に向けた取り組みと第5次総合計画の元年である。長引くコロナ禍で地方経済の状況は先行の不透明感が強まっている。

財政基盤の立て直しを優先に、緊縮型で編成した新年度予算案の規模は、49億5千988万4千円とした。令和3年度の当初予算案に対し大局的な観点から総括質疑する。

財政について

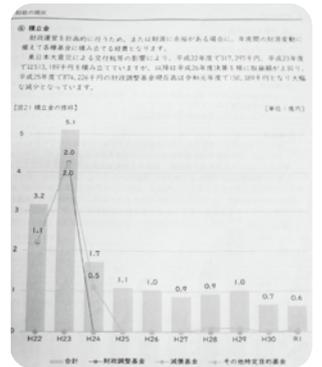
問 新年度予算案は緊縮型に移行することが示される中、予算要求の基準はどう設定したのか。

答 令和元年度決算をベースに令和2年度予算額を原則上限とした。委託料や需用費はマイナス10%、負担金補助はマイナス5%、普通建設事業はマイナス30%に設定した。

問 財政調整基金の令和3年度末の残高は、どう見通しているのか。

答 1億4千934万8千円の見通しである。

財政調整基金残高の推移



財政健全化の取り組みについて

問 普通建設事業における新規及び既存の事業について、選択と集中による事業の見直しや縮減等は町の発展に影響が出てくる。財政健全化と事業の継続性について、どう調整を図り取り組んで行くのか。

答 事業の見直し等は将来に向けた町の伸展に及ぼす影響がある一方、収入増につながる施策と判断される場合は柔軟に対応すべきとの意見も推進委員の方からいただいている。適時判断していく。

問 各種団体等に対する補助金のあり方について、補助事業の効果や成果を踏まえ補助制度の構築に取り組みとしたい。補助金の適正化に対しどのような検証と査定を行い、どう反映させたのか。

補助金についてはマイナス5%のシーリングを設定した。事業展開で収益が見込まれる団体は減額措置をした一方、団体補助金を減額することで、活動の縮小や団体の存続にも影響が及ぶことから前年同額の補助金を予算に反映した。各団体の実態に合った決定額とし、効果のある補助金制度にしたい。

答 ス5%のシーリングを設定した。事業展開で収益が見込まれる団体は減額措置をした一方、団体補助金を減額することで、活動の縮小や団体の存続にも影響が及ぶことから前年同額の補助金を予算に反映した。各団体の実態に合った決定額とし、効果のある補助金制度にしたい。

コロナ対策について

問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い各種業界は大変厳しい状況下にある。政府の公的支援はあるものの、中小・零細企業の経営体力は弱っている。地域活性化に向け町独自の支援策は、どう検討するのか。

答 令和2年度は事業収入が大きく落ち込んだ事業者に「事業継続応援給付金事業」で支援した他「地元経済応援クーポン券配布事業」等で地元経済活性化に努めた。令和3年度は国の臨時交付金を活用し支援策を検討する。

総合計画について

問 第5次総合計画は、第4次長期総合計画と地方創生総合戦略を継承・統合し社会情勢や財政状況などに対応するため、基本計画は4年間で取り組むとした。財政非常事態宣言下で、町長が掲げる町づくりのビジョンはどう描き、総合計画にどう反映していくのか。

答 総合計画はあるべき姿を計画的、効率的な行政指針を盛り込む計画である。財政健全化計画は、総合計画の進む姿を財政的に担保するものであり「表裏一体」と考えている。町づくりのビジョンは基本理念を大切に、新年度は厳しい財政であっても行政が行う施策は予算に反映させた。今後も社会情勢を判断しながら実効性の高い、効率的な行政運営に努めていく。



昨年度のクーポン券事業

令和3年度

予算審査特別委員会

令和3年度の各種会計予算審議にあたり、本会議から予算審査特別委員会に、その審査が付託されました。その後、委員長に太田初美議員を選出し3月9日から15日までの7日間にわたり慎重に審議し、予算関連の現地調査も実施しました。委員会採決の結果、いずれの予算も原案のとおり可決すべきものと決定されました。



審査結果を報告する太田初美特別委員会委員長

この質疑応答は、令和3年度予算を決定することにあたり、予算審査特別委員会において審議内容を抜粋し、質問の一部を記載します。

歳入

問 町税（個人・法人・固定資産税等）において、収納率を引き上げた理由は何か。

答 財政健全化を推し進める中で、町税等の自主財源の確保を図るため高い目標を設定した。

問 滞納対策を、どう講じていくのか。

答 滞納者に対し、催促や納税の相談を実施していく。一方、不誠実な滞納者には、法令に基づく処分も必要。

問 計画では公営住宅・定住促進住宅の使用料が対前年比で落ち込んでいるが、その原因は何か。

答 新しい民間アパートへの入居希望者が多くなっていると思う。今後、町の住宅に入居する方が増えるように対策を検討する。



町営住宅

問 入湯税が大幅な減額となった要因は何か。

答 コロナの影響で一時休館しているため、例年並みとはいかない。また、地震で被害を受けたと聞いている。

総務企画関係

問 定住促進事業補助金増額の内容は。

答 石生地区の宅地販売において、1区画当たり150万円の補助金を4区画分見込み予算を計上したため。

問 委託型地域おこし協力隊の支援業務とは、何を担っていくのか。

答 新たな地域おこし支援事業として、協力隊員1名をSUGOへ委託する事業である。

民生関係

問 合併処理浄化槽設置整備助成金による設置数は、何基計画しているのか。

答 5人槽が4基。7人槽が4基。10人槽が1基である。

問 特定健康診査や各種がん検診の受診率が低い。受診率を引き上げる対策は、どう検討するのか。

答 啓発活動を強化し、個別検診や土曜日検診等も検討していく。

問 結婚推進の成果は出ているのか。

答 令和2年度は、コロナの影響で見合わせた。

土木関係

問 新年度、都市計画街路小池・石生線は、どこまで事業が進むのか。

答 昨年度は用地補償について繰越をしている。予算はつくがなかなか事業が進まない。今年度は用地2件の契約を目指しているという。

問 無電柱化を推進する会費を納入しているが、無電柱化実現の見込みはあるのか。

答 蔵の街という事で先進事例の紹介や情報をもらうため、会費を納入している。

農業関係

問 閑場・沼田地区経営体育成基盤整備の進捗状況はどう進んでいるのか。

答 閑場地区の80名、沼田地区の120名に調査同意の説明を行った。7月まで100%の同意を目指したい。

沼田地区の北南、小泉大門、西足立地区でも機運が高まっている。



基盤整備の計画区域

消防関係

問 防火水槽の安全対策として、有蓋化水槽の予算が計上されていない理由は何か。

答 安全性を考えると有蓋化水槽の設置は必要である。財政健全化の中で可能な限り予算を要求していく。

教育関係

問 令和4年度から村田幼稚園と沼田幼稚園が統合となる。統合に伴う整備予算はどうなっているのか。

答 園児数の減少で1クラスが減となる予定。預かり保育も実施するため必要備品は準備し、統合に向けた制度設計をおこなう。



村田幼稚園

問 学校施設の修理修繕の経費が計上されていないが、

答 新年度予算では計上していない。第3次地方創生臨時交付金を充てることにしている。

文化財保護

問 2月13日に発生した地震被害の修繕は、どう計画しているのか。

答 やましよう記念館とヤマ二郎が被災した。今後、国から職員が来て現地を確認し準備を進めている状況である。

問 2年連続で蔵の修理・修景事業がストップしている。令和4年度から予算を計上している、選定手順はどう決めているのか。



蔵の街並み

答 これまでは、アンケート調査や希望個人宅を調査し点数化して順位を決めてきた。今後は、各団体や住民の参画も視野に選定委員会となるものを設けるべく検討中である。

国民健康保険

問 一般被保険者の療養給付金が伸びているが、町として、どう把握しているのか。

答 宮城県内で4番目の高額の医療費となっている。高度医療の利用者が多く、医療費の伸びも年々増えているのが現状である。

問 国民健康保険料は、各市町村単位で違うのか。

答 これまでは各自自治体単位に保険税を決めていたが、3年前から都道府県の単位化が始まった。税率の違いを統一化することも検討されたが一気に解消することは困難という事で、5年後に改めて保険税率の統一化に向け検討を始めることにしている。

宅地造成

問 新年度は何区画の販売を見込み、販売価格の設定はいくらになるのか。

答 4区画の販売を計画している。平米単価は1万9千300円で見込んでいる。町内の単価として少し高めであるが、1区画当たり150万円を定住補助金として助成する。



石生地区の宅地販売予定地

上水道事業

問 宮城県が進めている水道事業の民営化に伴い、仙南広域水道はどのよう変わっていくのか。

答 宮城県が水道事業の民営化を進めても、村田町の西原配水池、菅生の第1配水池までの送水は宮城管理型的方式で管理される。給水を受ける村田町としては何も変わらない。

予算審査特別委員会による現地調査

予算審査特別委員会最終日の3月15日に現地視察調査を行いました。

今回、村田町地域福祉センター（4月1日より多世代交流センター）と関場・沼田地区経営体育成基盤整備事業予定地の2カ所について調査を行い、施設の状態や事業予定地などを確認しました。



村田町地域福祉センター
（4月1日より多世代交流センター）



前村田町児童館(子育て支援センター)から移設した遊具



関場・沼田地区経営体育成基盤整備事業予定地

令和3年度 予算審査特別委員会意見

本議会において、予算審査特別委員長より町執行部に対して、次の委員会意見を提出しました。

1. 財政健全化計画に掲げた施策項目の取り組みについて、進捗状況に加え、その評価も検証しながら財政基盤の強化をはかること。
2. 農業生産環境のさらなる向上を図るため、関場・沼田地区経営体育成基盤整備の新規事業採択に向け取り組むこと。併せて、他地区の整備推進にも努めること。
3. 健康増進事業を通じて特定健康診査等や、各種がん検診の受診を推奨し、さらなる受診率の向上に創意工夫をこらすこと。
4. し尿処理手数料の取扱いについては、町民の不利益にならないよう、実態に即した規則等の見直しを図ること。

令和2年度 各種会計予算 補正額 【単位：千円】

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額	
一般会計(第8号)	6,892,085	180,569	7,072,654	
歳入	国庫支出金	1,899,537	67,617	1,967,154
	寄附金	60,330	90,000	150,330
	繰入金	106,611	22,952	129,563
歳出	総務費	2,044,412	90,000	2,134,412
	衛生費	561,045	90,569	651,614

令和2年度村田町一般会計補正予算(第8号)

【原案可決】

村田町感染症感染者等の人権擁護に関する条例の制定について

【原案可決】

令和3年第1回臨時会は、2月4日の1日間、開催されました。
この臨時会では、村田町感染症感染者等の人権擁護に関する条例の制定1件、令和2年度村田町一般会計補正予算(第8号)が提案され、何れも原案可決されました。

令和3年第1回臨時会

3月定例会

(令和3年3月5日～17日)

38 案件を 議決

こんなことが決定されました。

令和3年第2回 定例会

令和3年第2回定例会は、

3月5日から17日までの13日間にわたり開催されました。

この定例会では、条例の制定

2件、条例の整理1件、条例改正11件、条例の廃止1件、補正

予算6件、令和3年度各種会計予算8件、議員発議案1件、

工事請負変更契約2件、指定管理者の指定、町道の路線認定、同意2件、報告1件、諮問

1件が提案されました。

また、大沼町長の施政方針を受け、5人の議員が町の施政や今後の課題と対応等について質問をしました。

また、大沼町長の施政方針を受け、5人の議員が町の施政や今後の課題と対応等について質問をしました。



条例

■村田町子育て支援金支給条例の制定について

【原案可決】

■村田町景観条例の制定について

【原案可決】

■財政課等の設置に伴う関係条例の整理に関する条例

【原案可決】

■村田町職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町地域福祉センター条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町児童館設置条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町すこやか出生祝金支給条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町介護保険条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町野外活動センター条例を廃止する条例

【原案可決】

補正予算

■令和2年度村田町一般会計補正予算(第9号)

【原案可決】

■令和3年度村田町一般会計補正予算(第1号)

【原案可決】

■令和2年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

【原案可決】

■令和2年度村田町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

【原案可決】

■令和2年度村田町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

【原案可決】

令和2年度村田町下水道事業会計補正予算(第2号)

【原案可決】

令和2年度 各種会計予算 補正額

【単位：千円】

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計(第9号)	7,072,654	93,872	7,166,526
特別会計			
国民健康保険事業(第4号)	1,325,923	500	1,326,423
介護保険事業(第2号)	1,215,443	18,439	1,233,882
宅地造成事業(第1号)	23,000	△21,947	1,053
企業会計			
下水道事業(収益的収入)	325,314	△4,495	320,819
下水道事業(収益的支出)	325,107	1,343	326,450
下水道事業(資本的収入)	199,224	△2,397	196,827

工事請負変更契約

工事請負変更契約の締結について

1 工事名 令和2年度町道菅生姥ヶ懐線改良工事(第1工区)
2 施行場所 大字菅生地内

3 変更事項 契約金額
原契約金額 6千278万8千円

変更契約金額 6千657万8千6百円

変更による増額 379万6百円

4 契約の相手方 大字村田字二月田10番地の1

株式会社大慎組

代表取締役 大沼 佑

【原案可決】

工事請負変更契約の締結について

1 工事名 令和2年度旧第五小学校校舎等解体工事

2 施行場所 大字足立地内

3 変更事項 契約金額

原契約金額 6千490万円

変更契約金額 8千325万6千8百円

変更による増額 1千835万6千8百円

4 契約の相手方 大字村田字二月田10番地の1

株式会社大慎組

代表取締役 大沼 佑

【原案可決】

指定管理者の指定について

村田町が設置する公の施設の管理を行わせる指定管理者を指定することについて議会の議決を求めるもの

指定管理者に管理を行わせる施設

名称 姥ヶ懐民話の里ふるさとおとぎ苑

所在地 小泉字朮石2番地

指定管理者に指定する団体

所在地 村田字迫6番地

名称 一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター

代表者 理事長 小川隆秀

指定する期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【原案可決】

その他

町道の認定について

路線名 北塩内迫二号线

起点 字北塩内50-1

終点 字北塩内41

【全会一致認定】

人事

同意第1号

村田町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて

住所 村田町大字沼辺
氏名 大槻 章

【全会一致同意】

同意第2号

村田町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて

住所 村田町大字沼辺
氏名 鹿又 ひろ子

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦について

住所 村田町大字村田
氏名 信楽 隆浩

報告

令和3年度一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター事業計画について

令和2年度一般会計予算 繰越明許費内訳

【単位：千円】

款・項	事業の内容	繰越額
2. 総務費		
1. 総務管理費	新型コロナウイルス対策(国補正)感染症対策事業 新型コロナウイルス対策(国補正)指定避難所感染対策事業	6,000 20,000
4. 衛生費		
1. 保健衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業 新型コロナウイルス対策(国補正)保健センター感染対策事業	99,886 2,980
2. 清掃費	災害廃棄物処理事業	3,000
6. 農林水産業費		
1. 農業費	農道・用排水路維持管理事業	44,530
7. 商工費		
1. 商工費	新型コロナウイルス対策(国補正)観光磨き上げ事業	33,800
8. 土木費		
2. 道路橋りょう費	道路維持事業 道路新設改良事業 市町村道整備事業	2,000 9,492 69,780
3. 河川費	河川改修事業	20,000
4. 都市計画費	新型コロナウイルス対策(国補正)公園等感染対策事業 都市計画道路小池石生線事業	58,250 48,294
10. 教育費		
1. 教育総務費	新型コロナウイルス対策(国補正)学校トイレ感染対策事業	7,122
2. 小学校費	小学校管理運営事業	2,022
3. 中学校費	中学校管理運営事業 施設維持管理事業	5,622 1,980
11. 災害復旧費		
1. 公共土木施設災害復旧費	単独災害復旧事業	3,119
2. 公共農林施設災害復旧費	単独災害復旧事業 補助災害復旧事業	1,133 8,375

令和3年度 各種会計予算 補正額

【単位：千円】

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計(第1号)	4,959,884	146,980	5,106,864



● **鈴木 正信 議員** (11ページ)

1. 少子高齢化社会と人口減少への町の取組みについて

● **鈴木 宏 議員** (12ページ)

1. 村田町公の施設の指定管理と第三セクター補助金等について
2. 民話の里周辺の活性化対策について
3. 町道高田関場線の整備について

● **大沼 吉隆 議員** (13ページ)

1. 本町2021年産主食用米の生産量目安について
2. 令和3年度予算について

● **山家 大 議員** (14ページ)

1. 村田町インフルエンザ予防接種実施要綱の対象者について

● **菊地 睦夫 議員** (15ページ)

1. 本町の、保育所、幼稚園、および小学校、中学校の子どもたちの新型コロナウイルス感染防止への対策について
2. 外国人観光客(インバウンド)の対応について
3. 今後のふるさと納税について



鈴木正信議員

少子高齢化社会と人口減少への取組みは

本町の人口推移は、1985年1万3千807人をピークに減少が続いており、2021年2月1日で1万526人となりました。人口減少は町の将来展望に支障をきたすのではないかと懸念されています。

人口減少の影響と分析は

質問1

本町の人口が急激に減少した場合、町民の生活にどのような影響があるかと予測しているのか。

町長答弁

今後の人口減少がもたらす影響については、経済の縮小、担い手不足による地域経済の衰退、少子高齢化の進展による社会保障や介護など町民の暮らしに多くの影響を及ぼすと想定しています。

質問2

人口減少の要因について、現状をどのように捉えているのか。

町長答弁

人口動態の推移については、出生率の低下は人口減少を加速させる要因であり、転出入の人口推移では、20代前半から30代の移動が多く、お子さんが小学校就学後に減少する傾向があると分析しています。

女性が活躍できるまちづくりは

質問

人口増の実現には男女共同参画社会が重要、見解を問う。

町長答弁

女性が活躍できる職場の創出、働きたい町、起業したい町を目指し、今年度実施する、「子育て世代包括支援センター事業」や「一時預かり事業」等も、女性の雇用創出の場の一つであると考えており、今後も働く環境の向上に務めていきます。

今後の取組みは

質問

人口増加への取り組み事業・施策は。

町長答弁

令和3年度においては、預かり保育や出産・育児を含めた支援を行う子育て世代包括支援センター事業、教育ではGIGAスクール関連経費や子どものケアハウス事業、また移住・定住促進については村田町定住促進事業補助金の拡充などを図っていきます。



村田町多世代交流センター

まちづくりへの決意は

追質問

人口減少が進んでいくと町民サービスの低下が心配されます。様々な施策を実施するにあたり、町民が安心して生活できるような決意を問う。

町長答弁

町民の人たちが安心して暮らせるまちづくりのため、徹底した河川の整備を含め、防災に力を入れます。また、子育て世代の人たちが村田町に残って生活できるような理想的な環境作りを力を入れていきます。



整備中の荒川

町道高田関場線の南進ルートを整備を！

町長：小池石生線整備事業完了後、間を開けることなく着手。



鈴木 宏 議員

質問
町道高田関場線を南進し国道4号線に接続することを多くの町民は望んでいると思うが、見解を問う。

町長答弁
この事業は、主要地方道巨理大河原川崎線の狭隘な元関場橋及びその前後の線形不良の除去につながる代替え機能を確保し、元関場付近の交通渋滞を解消し村田インターチェンジへのアクセス向上を図る



町道高田関場線(関場側)

もので、巨理大河原川崎線のバイパス的機能をする幹線道路を整備する事業となる。宮城県において今後十年間の主要施策や行動計画などを盛り込んだ、「宮城県土木・建築行政推進計画」に基づき、小池石生線整備事業の完了後、間を開けることなく元関場橋付近の線形不良区間について事業着手していく旨、大河原土木事務所より回答を頂いている。

第三セクター補助金、費用対効果は？

町長：自立した運営状況が望ましい。自助努力を促す。

質問
第三セクターへの運営補助金等のあり方を問う。

町長答弁
運営費補助金にあっては自立した運営状況になることが望ましいが、事業の達成度や事業内容の有効性・効率性を考慮して決定している。今後は、前例主義にとらわれず、運営実態や会計状況を踏まえた補助金額の適正化に取り組んでいく。

追質問
第三セクターの株式会社M社は民間会社で、当初予定の自立期間の3年間を経過し、補助目的は達成したのでは。

企画財政課長答弁

総務省の第三セクター

民話の里周辺の活性化対策は？

町長：民間事業者の資金経営能力・技術的能力を活用。



東の玄関口、民話の里周辺

等の経営健全化等に関する指針に基づき、町は令和2年9月、経営に関する町の関与とか、会社の事業の健全化経営の取組み内容について、経営健全化方針を策定。今後の経営状況を見ながら進める。

いの創出の場として期待しているが、町長の考えは。

町長答弁

現在、町と宮城県土木部道路課、大河原土木事務所とで施設の更新及び再整備に向け検討を進めている。民間事業者・住民等の多様な主体の参画・連携を促し、行政と民間との協働により最も効果的かつ効果的に公共サービスの提供が行えるよう、「民間活力の導入」を視野に取り組みたい。



東の玄関口、民話の里周辺

質問
民話の里周辺を、民間投資の誘発で新たな賑わ

令和3年産主食用米の生産量「目安」を問う



大沼吉隆 議員

質問1
県農業再生協議会
が示した、本町の2
021年産主食用米
の生産量目安は、面
積換算で、前年より



水田から施設園芸作物への転作

少ない面積と聞き及
んでいます。生産者
にとっては、需給緩
和からくる価格下落
と、作付面積の減少
による減収も懸念さ
れ、大変厳しい選択
を迫れる状況にあり
ます。

そこで、米生産の
需給安定に向け、ど
の様に作付面積を落
とし込むのか。

得確保に向けた対策は。

作付面積減少に伴う米農家の所得確保
対策は

町長 主食用米から園芸作物等への転換を考える。

町長答弁

現在、令和3
年産の水田作付
け計画の策定を
お願いしている
ところです。

また、農事組
合法人等大規模
経営を行ってい
る農業者に対し
て、水田活用の
直接支払い交付
金の新たなメニ
ューとして示されている、



水田から畑作(アスパラガス)の栽培へ

質問2

本町として、作付面積
減少からくる農家の所
得確保に向けた対策は。

「都道府県連携型助成」
等を活用して主食用米
から園芸作物等へ転換
して頂くよう推進した
いと考えている。

町長答弁

国、県が示してい
る交付金事業につい
て、県と連携し、県
の予算成立後、農業
者に対してチラシ等
により周知を図り、
農家の所得確保に当
たっていききたい。

令和3年度予算編成での財源不足は

町長 財政調整基金から繰入金として措置した。

質問

令和3年度一般会計予
算規模については、コロナ
禍の影響で税収が減少す
るなか、財政健全化計画
の歳入規模とほぼ同水準
にしており、大変厳しい
予算編成だったと理解す
る。そこで聞くが、予算
編成段階で財源不足があ
ったのか、あったとすれば
どう対応したのか。

町長答弁

予算編成にあたっては、
財政健全化計画の取組み
を行いながら、緊急度や優
先度により施策の選択を
行った。

財源不足の観点では、
今般、可決いただいた予
算額のうち、歳入で約5
千5百万円を財政調整基
金から、繰入金として措
置しているところである。



山家 大議員

村田町インフルエンザ 予防接種実施要綱の対象者について

問 小中学生へもインフルエンザワクチンの助成を

答 手洗いマスク着用が重要

質問

現在インフルエンザワクチン予防接種の助成対象は65歳以上と中学3年生だが、インフルエンザまん延予防として小学1年生から中学2年生にも予防接種の助成が必要ではないか。

子育て世代の経済的負担の軽減にもなり、ひいては定住促進へもつながるものと予測される。町長の考えは。

町長答弁

ワクチン接種だけでは子供の発病阻止効果は低い。そのため社会全体の流行抑制としては期待が薄い。今後の予防接種効果の変遷

や国・近隣市町の動向を踏まえて対応していく。

追質問1

65歳以上の対象者の接種率は例年50%、コロナ禍により無料であった昨年でも60%と高いとは言えないが、この接種率についてどう考えるか。

健康福祉課長答弁

接種率を上げていきたいと考えている。

追質問2

自己責任とはいえ接種しない方の感染リスクを減らす施策も必要である。高齢者の家庭内での感染予防のためにも孫世代のワクチン助成は必要と考えるか。

健康福祉課長答弁

今後の動向を見ながら考えていく。

追質問3

蔵王町では生後6か月から中学2年生まで1回千円、中学3年生は無料で予防接種を受けられ、手厚い支援と感じる。本町でも子育て支援の目玉としてはどうか。

健康福祉課長答弁

子育て支援策としては、すでに包括支援センター開設や妊婦健診費用の助成などを実施している。

追質問4

令和3年度施政方針に、石生地区造成宅地の早期売却実現にむけ150万円の補助金制度を確立するとあるが、より一層のアピールが必要と考える。制度にインフルエンザ予防接種の助成も追加するのはどうか。

町長答弁

接種効果がそれほど見込めないという国の判断である。また、コロナ禍において実践されている感染対策がインフルエンザ感染減少にも効果を示し、手洗いマスク着用などが重要であると理解している。

現在の予防接種制度

定期接種（法定接種）	任意接種
法律に基づき市区町村が主体となって実施。費用は原則公費のため、無料で接種できる。 B型肝炎ワクチン 水痘ワクチン MRワクチン 4種混合ワクチン 日本脳炎ワクチン BCG インフルエンザワクチン(高齢者対象) など	接種費用は自己負担。一部または全額負担してくれる自治体もある。 インフルエンザワクチン (小中学生対象) おたふくかぜワクチン など

平成6年までは定期接種として国が小中学生に集団接種を実施していた



菊地睦夫議員

本町の、保育所、幼稚園、および小学校、中学校の子どもたちの新型コロナウイルス感染防止への対策について

質問

村田町では、ここ数日に5人が感染し3月7日現在の感染者数は16人となりました。そこで、本町の保育所、幼稚園、小学校、中学校での新型コロナウイルス感染防止策として、現在どのような対策を行っているのか。

教育長答弁

登園、登校時や部活動等の都度、子どもたちの健康状態を確認して、手洗い、うがい、マスク着用の指導を徹底しています。さらに、各種行事の入場制限をし、食事は間隔をあけて安全にとれるようにしました。また、スクールバスは過密乗車を避け、運

行回数に余裕を持たせました。また、トイレの改修事業には非接触型水道蛇口の設置も考えております。

追質問

数多く蛇口を設置するために、安価なレバー式の採用はどうか。

教育総務課長答弁

このことも含めて、順次計画的にやっております。

外国人観光客（インバウンド）の対応について

質問

昨年「宮城の小京都」として本町の町並みがテレビ放送にて紹介されておりました。そこで、今後、新型コロナウイルス感染症が終息すれば、多くの外国人観光客が本町に訪れる事が想定されますが、外国人観光客に対する語学的対応についてどのように考えているのか。

町長答弁

現状では、コロナ禍の終息どころか、変異株の流行も見え始め、海外からの渡航客の入国制限も長く続くものと思われ、まったく先の見えない状況であります。

宮城県県の「みやぎ観光回復戦略」の中のインバウンドの取組みを進めていくうえで、語学的対応は重要な視点であるため、観光パンフレットや観光サイトの多言語語化などを進めていきます。

追質問

ALTの先生にお願いして町の観光案内の英会話講座を開催し、ボランティアによる観光案内人の育成はどうか。

地域産業推進課長答弁

ALTの先生は、あくまでも語学指導員で、今後英会話講座を実施し、その中から観光案内できる人が現れたら、ありがたいです。

今後のふるさと納税について

質問

ふるさと納税に関する一般質問は今回で4回目となります。今までは、数百万円だった、ふるさと納税額が今回、1億5千万円となったことで、令和2年度のふるさと納税額の増えた要因は。

町長答弁

ふるさと納税ポータルサイトの追加登録したことや首都圏を中心として全国に向けて積極的に新聞等で広告宣伝をしたことです。

追質問

今後どのくらいのふるさと納税の寄付額を見込んでいるのか。

町長答弁

村田町財政健全化計画の自主財源の確保に掲げてある6千万円を予算措置しました。

常任委員会 レポート

総務常任委員会

1. 普通財産の管理について

① 行政財産

行政財産は、公用または公共用に供することを決定した財産をいう。原則「貸付・交換・売却・譲与・出資の目的とすること・信託すること・私権を設定すること」ができず、これに違反する行為は無効となる。

② 普通財産

村田町財務規則及び財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例に基づいて、処分及び管理等を行っている。普通財産売却実施要綱に基づき、適正な価格により普通財産の売却を行っている。

③ 法定外公共物

法定外公共物（里道・水路）については、規則に基づき、所管課と連携し処分及び管理等を行っている。

2. 旧学校跡地について

旧村田第五小学校跡地

現在、都市計画道路路小池石生線事業に伴い、要移転となる事業者の移転候補地として、協議を継続している。



売り払いを進めるために旧第五小を解体

旧村田第四小学校跡地

岩沼蔵王線をはじめ、菅生スマートインターチェンジ化が進むことにより、沿道周辺の利活用が期待されることから、跡地利活用を検討している企業等の対応に努めている。

● 委員会所見

町の一般財源確保の観点から石生地地区宅地造成事業に伴う宅地の早期売却の促進に努めること。

旧学校跡地の利活用では、旧村田第五小学校跡地は小池石生線事業に伴い、要移転となる事業者の移転候補地として協議を継続しており、宮城県と連携し万全を期されたい。

旧村田第四小学校跡地については、早期の財産処分を念頭に有効な利活用を図る手立てを期待する。

企業誘致について (2月5日実施)

産業建設常任委員会

■ 企業誘致について

村田工業団地は、昭和50年、村田町が宮城県農村地域工業導入地区に指定されたのを機に造成が進められ、昭和56年に完成しました。総面積59ヘクタールで、東北自動車道村田インターチェンジからわずか300mの地点にあることや、幹線道路が至近距離にあることに加え、仙台市に隣接しているなど、利便性が高く、物資輸送の面で優位な条件を備えています。

現在の村田工業団地には、東北地方の拠点工場としての役割を担う14企業の工場が操業中（うち1社は操業準備中）で、村田町に雇用の拡大や所得の増加といった社会経済面での波及効果をもたらしながら業績を伸ばしております。

1. 工業統計について

宮城県の工業（平成30年）による村田町の事業数は、村田工業団地を中心に町内29社（従業者4人以上の事業所）が操業し、1千557人

の従業者が勤務しています。

● 委員会所見

村田町の半径50キロ圏内は近隣の主要地と繋がっており、陸・海・空の観点から見ても将来的に有望視されています。

まずは、用地を確保することが求められます。全国的にもIC、JCT、スマートICと3つが揃う好条件の地の利を全面に活かして、企業誘致に取り組むことを望みます。



村田ICに隣接の工業団地

国保、後期高齢者医療行政について (2月10日実施)

教育民生常任委員会

■国民健康保険事業特別会計について

平成30年度からの県単位化により、町担当課の業務が軽減された。財政面でも人口・所得の多い仙台市などから負担してもらおう形となり、小規模自治体としてはメリットのある制度である。実際に県単位化以降、本町では保険料の値下げが行われ、県内でも低めの保険料となっている。

■後期高齢者医療特別会計について

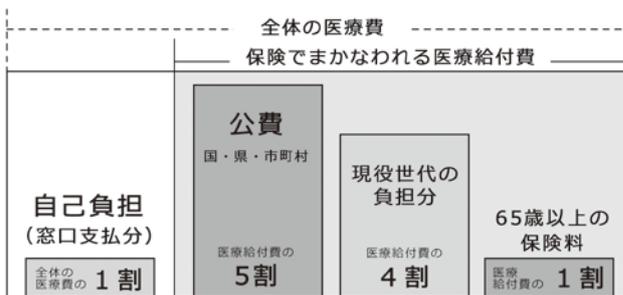
医療費は、病院窓口で支払う自己負担が所得に応じ1割または3割、それ以外は医療給付費でまかなわれる。医療給付費の内訳は公費5割(国・県・市長村4・1・1)、若い世代の負担4割、高齢者の保険料1割となっており、高齢者の医療を国民皆で支える仕組みとなっている。

保険料については、村田町の医療費水準は県で4番目という高い数字でありながら、保険料は宮城県全体

で算出され県内市町村均一となるため、本町は恩恵を受ける形となっている。

○委員会所見

今後、国民健康保険料や医療費が増加する懸念がある中、町では基金の運用法をはじめ先を見越した対策が出来ているようである。今後もうまく運用し町民の負担を減らせる努力を続けていただきたい。



後期高齢者医療費のイメージ(内訳)

議員発議で令和3年度も議員報酬5%の削減を議決

議発案第1号 議会の議員報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一部を改正する条例

(提出の理由)

昨年「財政非常事態宣言」が発令された事により、財政健全化計画の確立に基づき、議員も一丸となってこの苦境を乗り越えるべく、令和3年度においても議員報酬の5パーセント削減を継続し、早期に緊縮財政状況が改善されるべく努めなければならない。

令和3年第1回臨時会で議決

村田町感染症感染者等の人権擁護に

関する条例の概要(抜粋)

■条例制定の背景

令和元年12月以降、新型コロナウイルス感染症は瞬く間に拡大し、私たちの生命及び健康を脅かしています。この状況を踏まえ町では、感染症全般を視野にいれ、正しい理解と正確な情報に基づき行動し、人権侵害を出さないよう、町・町民及び事業者の責務を明らかにし、みんなが安心して暮らすことが出来る地域社会の実現を目指すため、本条例の制定を議会に提案され可決されたものです。

(町の責務)

- 1、町民及び事業者に対する感染症に関する、正しい知識の普及啓発、情報の収集整理及び発信を行い、感染症の拡大防止に努めること。
- 2、人権侵害行為による被害を受けた感染者の相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等の支援を行うこと。
- 3、感染者等の人権を擁護するため、必要な施策を講じる。
- 4、国及び県その他関係機関と連携・協力すること。

わたしの思い

「天国の食堂」

誰かに聞いたか、何かで読んだか定かではないが、記憶に残っているおとき話がある。

あの閻魔様がいる、地獄に食堂があって、なぜか非常に贅沢な食欲をそそる料理が食卓に並んでいる。地獄の住人たちは、我先にと箸をのぼすのだが、いかんせん、地獄の食堂で使える箸



いつでも心に青空を

吉野よしの 隆たかしさん(千塚)

は極めて長く、臨席や向かいの席に座る地獄の住人の箸とぶつかり、自分の口に何一つ料理を入れることができない。しまいには、けんかがあちらこちらで始まり、地獄の食堂はまさに「地獄」と化してしまふ。

さて、天国にも食堂があつて、地獄と同じく極めて長い箸を使っていた。しかし、天国の食堂はとても和やかで穏やかな雰囲気であったという。天国の住人たちは、自分の口に料理を運ぶのではなく、向かいの席の住人の口に料理を運び、お互いに助け合っていた。私は近年還暦を迎えたが、村田町の住人として生涯を全うしそである。「天国の住人」のようにお互いのことを配慮しあえる、そんな「村田の住人」であることを誇りにしたい。

議会事務局職員の異動がありました

4月1日付けで職員の異動がありました。今後ともよろしくお願いいたします。



【前】主任主査 半沢直美はんざわ なおみ
〔まちづくり振興課〕



【新】主 事 小山香純おやま かすみ
〔前 町民生活課〕

次の定例会は6月15日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より
<http://www.town.murata.miyagi.jp/>
コンテンツ「村田町議会」から「議会中継」へ
アクセスしてください。

本会議の日程については、
町ホームページの「本会議開催予定表」で
お知らせしています。

村田町議会公式Facebook はじめました

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

編集後記

寒い冬が終わり、風も日差しも春らしさを感じられる頃になりました。

「第三十五回村議会広報全国コンクール」に応募しましたが、入賞はできませんでした。講評の結果を受け止めて今後の「議会だより」に生かしていきます。

新型コロナウイルスが町に広がっています。マスク、手洗い、うがいの徹底をして頑張りましょう。

議会広報編集特別委員会

委員 鈴木 保博

発行・編集責任者

議長 遠藤 実

議会広報編集特別委員会

委員長 菊地 睦夫
副委員長 大沼 吉隆
委員 山家 大宏
委員 鈴木 正信
委員 鈴木 登明
委員 村上 敏明
委員 吉野 初美
委員 太田 保博
委員 鈴木